

熊本市 感染症発生動向調査 速報

梅毒急増中

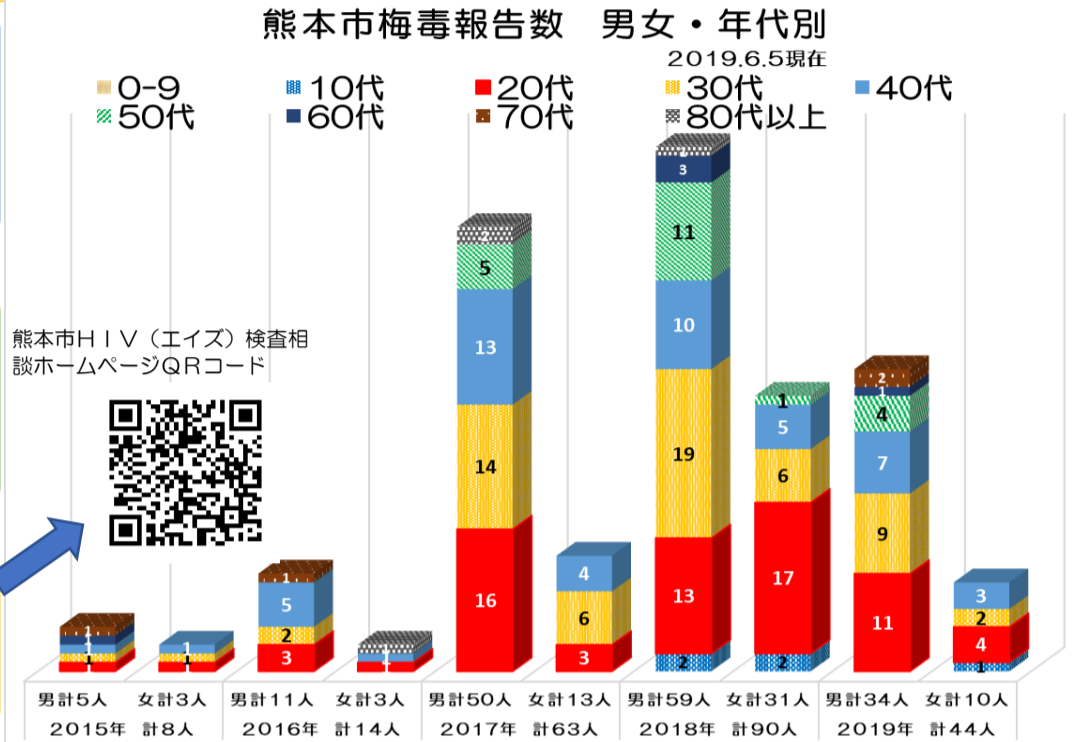
全国では2013年以降、熊本市でも一昨年から急増中!! 男性では20～40歳代、女性は20歳代が多く報告されています。

梅毒は、梅毒トレポネーマという病原菌による感染症で、性行為（口や性器）で感染、キスでうつることもあります。潜伏期間は3～6週間程度です。症状は経過の期間によって違います。症状が無いこともあります。予防にはコンドームが有効です。

無症状だったり、放っておいても症状が軽快することもあります。病気が進行していきます。症状があるときは早めに、皮膚科、泌尿器科、性病科、婦人科などを受診してください。

妊婦の感染は流産や死産、赤ちゃんの先天性梅毒の原因になることもあります。また、HIV、クラミジア、淋病など、他の感染症にも感染しやすくなります。

早期発見・早期治療が大切!! 熊本市保健所ではHIV検査と一緒に梅毒の検査も受けられます。詳しくはホームページをご覧ください。



期 間		2019年 21週		2019年 22週	
		5/20～5/26		5/27～6/2（最新）	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	7	0.28	3	0.12
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	13	0.81	4	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⚠	38	2.38	34	2.13
感染性胃腸炎	➡	76	4.75	78	4.88
水痘(みずぼうそう)	➡	13	0.81	6	0.38
手足口病	⚠	85	5.31	80	5.00
伝染性紅斑(りんご病)	➡	15	0.94	3	0.19
突発性発しん	⚠	12	0.75	17	1.06
ヘルパンギーナ	➡	12	0.75	23	1.44
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	1	0.06
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	15	3.00	13	2.60
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	1	0.20	2	0.40
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	7	1.40